

平成29年12月定例会会議録（第2号）

平成29年12月7日 木曜日 午前10時00分開議

渋谷 佐輔 議長 小関 秀一 副議長

出席議員（15名）

1番	宇津木 正紀	議員	2番	浅野 敏明	議員
3番	金子 豊美	議員	4番	内谷 邦彦	議員
5番	平 進介	議員	6番	鈴木 富美子	議員
7番	渡部 秀樹	議員	8番	今泉 春江	議員
9番	梅津 善之	議員	10番	赤間 泰広	議員
11番	小関 秀一	議員	12番	五十嵐 智洋	議員
13番	蒲生 光男	議員	14番	安部 隆	議員
16番	渋谷 佐輔	議員			

欠席議員（1名）

15番 町田 義昭 議員

説明のため出席した者

内谷 重治	市長	遠藤 健司	副市長
泡淵 栄人	地方創生戦略監併教育戦略監	齋藤 環樹	総務参事
松木 幸嗣	厚生参事	竹田 利弘	総合政策課長
佐野 安広	総務課長	松木 満	財政課長
桐生 芳弘	公共施設整備課長	小関 浩幸	地域づくり推進課長
伊藤 亮一	会計管理者兼稅務課長兼会計課長	佐藤 隆	市民課長
手塚 慶一	健康課長	高橋 正典	福祉あんしん課長
金子 剛	子育て推進課長	堀越 俊一郎	監査委員
平田 裕	教育長	鈴木 國男	選挙管理委員会委員長
寒河江 忠	農業委員会会長	谷澤 秀一	産業参事
青木 邦博	建設参事	遠藤 敏広	農林課長併農業委員会事務局長
中田 浩之	商工観光課長	横山 照康	産業活力推進課長
多田 茂之	建設課長	鈴木 嗣郎	上下水道課長
横山 賢一	教育参事	鈴木 博郎	学校教育課長

川 村 直 人 文化生涯学習課長
鈴木 良 弘 選挙管理委員会事務局長
併監査委員事務局長

沼 澤 孝 典 生涯スポーツ課長
渋谷 正 通 消 防 主 幹

事務局職員出席者

高 石 潤 一 議会事務局長 小林 克 人 補 佐
若 月 由 紀 議事調査主査 飯 澤 光 梨 主 任
安 達 洋 司 技 士 長

議事日程（第2号）

平成29年12月7日 木曜日 午前10時00分開議

- 日程第 1 市政一般に関する質問
- 12番 五十嵐 智 洋 議員
 - 1番 宇津木 正 紀 議員
 - 2番 浅 野 敏 明 議員
 - 4番 内 谷 邦 彦 議員
 - 3番 金 子 豊 美 議員

本日の会議に付した事件

議事日程（第2号）に同じ

開 議

○**渋谷佐輔議長** おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員は、15番、町田義昭議員の1名であります。

よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

なお、五十嵐智洋議員並びに宇津木正紀議員から、資料の配付について申し出があり、会議規則第150条の規定により、許可いたしましたので、ご報告いたします。

本日の会議は、配付しております議事日程第2号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○**渋谷佐輔議長** 日程第1、市政一般に関する質問を行います。

なお、質問の時間は、答弁を含めて60分以内となっておりますので、ご協力をお願いします。それでは、順次、ご指名いたします。

五十嵐智洋議員の質問

○**渋谷佐輔議長** 順位1番、議席番号12番、五十嵐智洋議員。

(12番五十嵐智洋議員登壇)

○**12番 五十嵐智洋議員** おはようございます。お寒い中、市民の皆様にはたくさん傍聴しに来ていただきまして、ありがとうございます。

さきの衆議院議員選挙応援で、自由民主党筆頭副幹事長、小泉進次郎氏が山形を訪れ、山形市では講演、米沢市、南陽市では街頭演説を行い、私は3度ともその場におりました。小泉氏は36歳、自由民主党の若手リーダーで、今の政界で最も勢いがあり、発信力抜群の政治家であります。米沢市、南陽市の街頭演説は、まさに黒山の人だかり。テレビ局のカメラがずらりと並び、多くの一般市民が訪れ、普通、選挙演説などには関心の少ない若い女性も大勢おられ、小泉氏の登場にアイドル並みの歓声が沸き起こり、人気がいかに全国的なものになっているかをあらわすものと改めて感じました。

小泉氏は、近い将来、自民党総裁、総理大臣を期待されているスーパースターであります。この政治家がどのようなお話をされるのか、未来の総理大臣候補がどんな日本の将来像をお持ちなのか、ぜひこの目で見、耳で聞きたいと思い、駆けつけた次第であります。

まずわかりやすい言葉で聴衆を引き込み、山形県各地の歴史や食べ物などに触れ、私は横須賀が選挙区だが、全国が地元と考えていると、日本のリーダーになる決意もちらつかせると、拍手が起きます。みずから考案したことも保険、教育改革、人生100年時代の社会保障はどうあるべきかなどの構想を披露し、現在の医療制度の矛盾などをユーモアたっぷりに風刺します。湿布薬のサロンパスを薬局で買えば1,000円するが、高齢者が医者にかかって、腰が痛い、膝が痛いと言うと、先生はすぐに湿布を処方してくれ、金額は1割負担で100円である。次の受診でも、またその次も、痛いと言わなくても先生は予定どおり湿布薬を出す。100円でもらった湿布薬はめったに使わないから山のようにたまり、お茶飲みに来た友達にお土産に差し上げると喜ばれて、その友達はお菓子を持ってきてくれた。別の友人は野菜や果物を持ってきてくれた。100円の湿布薬がいろいろなものに変